

## ヒョウモンダコ再び

伊豆分場だより第370号の南方系生物の出現という記事でヒョウモンダコについて記載しました。その記事では、6月24日に稲取地先にて漁業者が卵を守っていたヒョウモンダコを発見したことを記載しましたが、今度は当场近くの白浜漁港でヒョウモンダコが採集されたので記録します。採集日は10月5日で、当场が研究用に設置しているイセエビの稚エビ採集器具に付着していました。この採集器具からヒョウモンダコが採集されるのは珍しいため(おそらく初めて)、当场の水槽で飼育しております。餌としてイソスジエビや小型のカニ類を投入したところ、小型のカニについては摂食しているようです。なお、本原稿を執筆している1月27日時点ではヒーターをつけて、18.5℃程度で飼育しており、まだ元気な模様です。

小型でかわいらしいタコですが、唾液腺にフグ毒と同じ「テトロドトキシン」を持つため、噛まれると呼吸困難などの症状を引き起こす可能性があります。見かけでも絶対に触らないでください。ヒョウモンダコを含めた磯で見られる危険生物は当场HPにも掲載しております。磯遊びをする際は参考にしてください。

URL : [https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/izu/creature/4-1-3\\_dang.html](https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/izu/creature/4-1-3_dang.html)

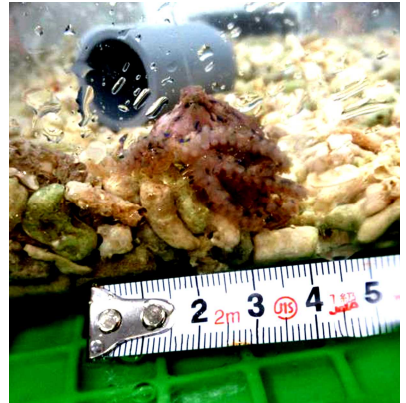


写真 ヒョウモンダコ

(高田伸二)